



## LR Baggsのプリアンプ

プリアンプはアコースティックギターのサウンドメイキングで非常に重要です。

アコギにプリアンプを使うか使わないかで、又どのプリアンプを使うかでサウンドクオリティは大きく変わります。エルアールバッグスのプリアンプは全モデルでナチュラルなサウンド再生に必須のディスクリートA級回路を採用、ピュアな音質が高い評価を得ています。

また、十分な入力インピーダンスを持ち、入力感度調整用のGAINコントロールも付いていますので、エルアールバッグスのピックアップだけでなく、あらゆるメーカーのピックアップに対応します。

\*2020年3月現在

	1 Para Acoustic DI	2 Venue DI	3 Session DI	4 Gig Pro	5 Mix Pro	6 Stadium DI
モデル (人気順)						
	最も良く使われている 定番プリアンプDI	5バンドEQ、フルイソレーションDI ブースト、チューナー、多機能プリアンプ	スタジオ系DSP内蔵 エフェクタータイプDI	ベルトクリップ式 プリアンプ	ベルトクリップ式 2入力プリアンプ	スタジオ系DSP内蔵 ベース用DI
EQ	4バンド (Midは可変式) Treble, Presence, Mid, Bass	5バンド (Mid 2つは可変式) Treble, Presence, Hi-Mid, Low-Mid, Bass	X	2バンド Treble, Bass	2バンド Treble, Bass	X
ノッチ・フィルター	○ (レベル調整あり)	○	○	X	X	X
その他機能	X	ブースト チューナー ミュート	サチュレーション コンプEQ ミュート	X	ミックス	サチュレーション アタック、コンプEQ ミュート
入力ゲイン	○	○	○	○	2 x Gain (内部)	○
フェイズ	○	○	○	○	○	X
ハイパス・フィルター	X	X	○	○	○ (内部)	X
DIアウト	○	○ (w/Ground Lift)、フルイソレーション	○ (w/Ground Lift)	X	X	○ (w/Ground Lift)
エフェクトループ	○ (ステレオYケーブル使用)	○ (1/4" Send, Return)	X	X	X	X
電源	9Vバッテリー ファンタム電源 (30-48V)	9Vバッテリー 12VDC アダプター	9Vバッテリー 12VDC アダプター ファンタム電源 (24-48V)	9Vバッテリー	9Vバッテリー	9Vバッテリー 12VDC アダプター ファンタム電源 (24-48V)



### Para Acoustic DI

豊かで純粋な音質、強力なEQ、汎用性、高い信頼性により、Para DIは世界中のミュージシャンに欠かせない定番のプリアンプとなっています。



### Venue DI

フルアイソレーションのDI、パラメトリックタイプのローとミッドを含む5バンドEQ、クリーンブースト、クロマチックチューナーを装備。アコースティック楽器を完全にコントロールできます。



### Session DI

サチュレーションやコンプEQを内蔵。最高のスタジオ機材で経験豊富なオーディオ・エンジニアが作り上げたような豊かな音に変化させます。



### Gig Pro

オールディスクリートA級回路のシングル・チャンネル・プリアンプです。



### Mix Pro

オールディスクリートA級回路のデュアル・チャンネル・プリアンプです。2つのシグナルをブレンドすることができます。



### Stadium DI

ベース用プリアンプ。サチュレーションやコンプEQを内蔵。スタジオでオーディオ・エンジニアが作り上げたような豊かな音に変化させます。

## ■DI(ディーアイ)とは

楽器の信号は、高域が減衰しやすくノイズが乗りやすいため、ミキサーなどPA機材に接続する前にノイズに強い信号に変換します。この変換をおこなう機材がDIです。プリアンプ等で、同じくミキサーなどへの出力の事をDI出力(もしくはバランス出力)と呼びます。

## ■ファンタム電源とは

コンデンサーマイクやプリアンプなど電源を必要とする機材のために、音声信号のケーブルを通して送られてくる電源を「ファンタム電源」と呼びます。LRBaggsのPara DI、Session DIおよびStadium DIは、ファンタム電源でも駆動できます。

## ■オール・ディスクリート回路とは

電子回路にはICが良く使われますが、音響的には有利な部品ではありません。フル・ディスクリート回路とは、昔ながらのトランジスタや抵抗など単体の部品を使った回路の事で、細かく値を決めたり、個々の部品の精度を選べるため、音質的に有利です。

## ■ノッチ・フィルターとは

アコースティック・ギターはボディが鳴りやすい分、フィードバックが起きやすい楽器です。それを防ぐための機能がノッチ・フィルターでアンチ・フィードバックとも呼ばれます。イコライザーの一種で、特定の狭い周波数帯域だけカットし、フィードバックを防ぎます。

## ■サチュレーションとは

音に深みを太さを加えるために、信号をわずかに歪ませる効果をサチュレーションと呼びます。主にレコーディングなどで導入されているテクニックですが、聞いても歪んで聞こえない程度の効果です。エフェクターなどの聞いて分かる歪んだ音は「ドライブ」サウンド。

## ■エフェクト・ループ(Fx loop)とは

別のエフェクター機材などを、プリアンプの回路途中に挟むことができる機能の事です。プリアンプで十分に増幅された信号を外部エフェクターに送り、戻った信号も最適状態を受け取る事ができるため、音質の劣化が防げ、エフェクト効果も最大限に受けられます。

## ■フェイズとは

アコギの生音とアンプの音が干渉して、音が引込んで聞こえる状態を「位相(フェイズ)がずれている」と言います。これを解消するための機能が、フェイズもしくはインバートと呼ばれるスイッチです。2つのポジションのうち、良く聞こえる方を選びます。

## ■コンプEQとは

音の強弱を整えて、音質をスムーズにするLR Baggs独自の機能。EQという名ですが、イコライザーではなく、音を整える役割を持つコンプレッサーの一種。3つの周波数帯で別々に働き、アコースティック楽器で効果的に働くような回路設計になっています。

## ■ミュート(Mute)とは

ミュート(もしくはミュートスイッチ)とは、単純に音を切る機能です。プリアンプにミュートがあれば、ミュートをオンしている間に、チューニングを行ったり、ギターを繋ぎ変えたりする作業が行えるため、あると便利な機能の一つです。